

基盤地図情報(数値標高モデル)データを活かす

日本スーパーマップ株式会社

時空間DX事業部

2023年11月7日

- 等高線(50cm間隔)
- 傾斜度・傾斜方向(50cmメッシュ)

基盤地図情報(数値標高モデル)

利用したデータの種類

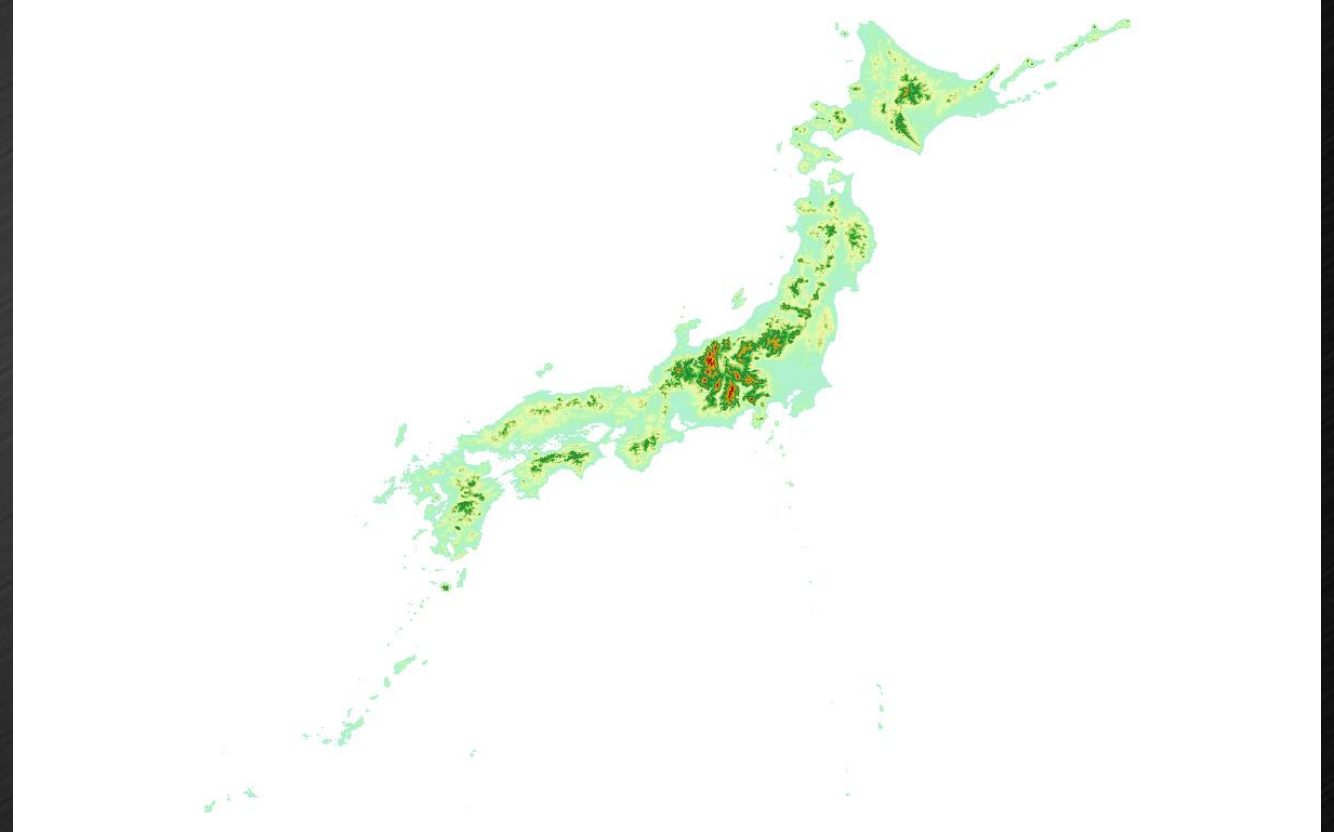
- DEM5Mメッシュ

補完部分

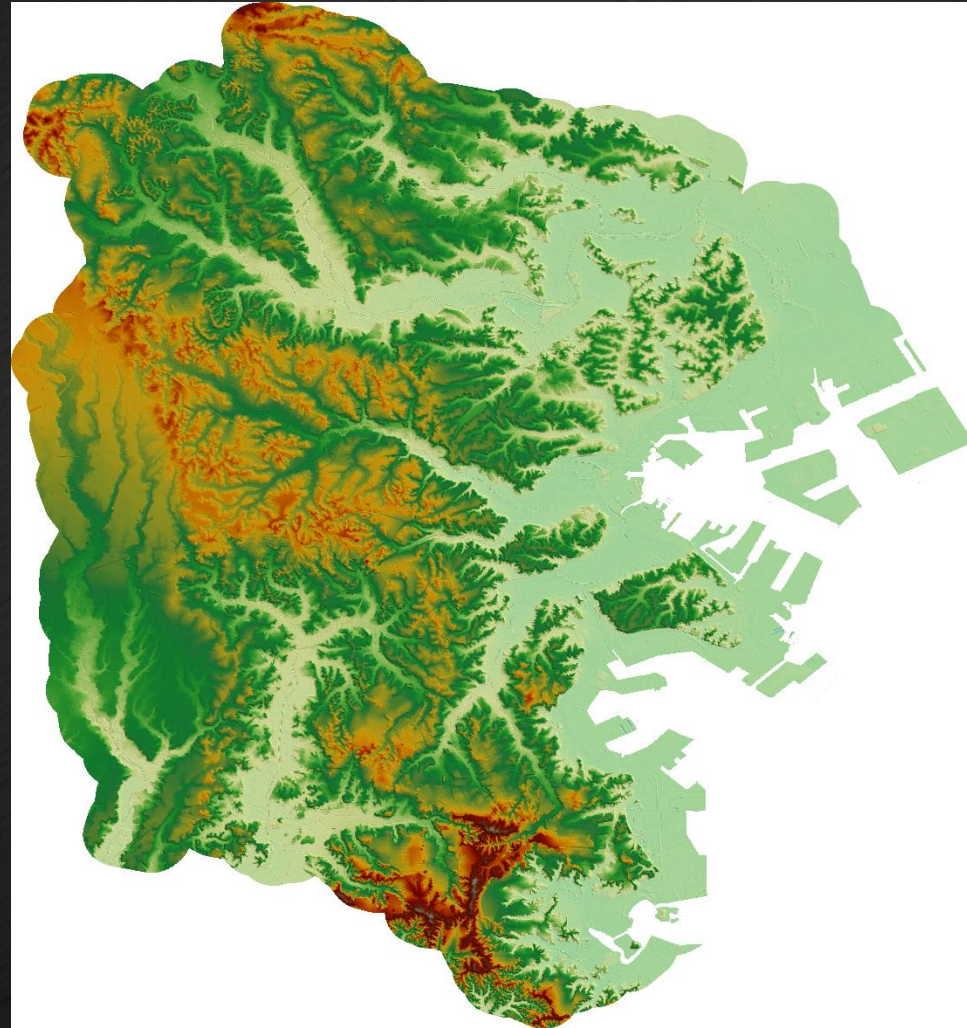
- 10Mメッシュ

保存データ形式

- SuperMap UDBX形式

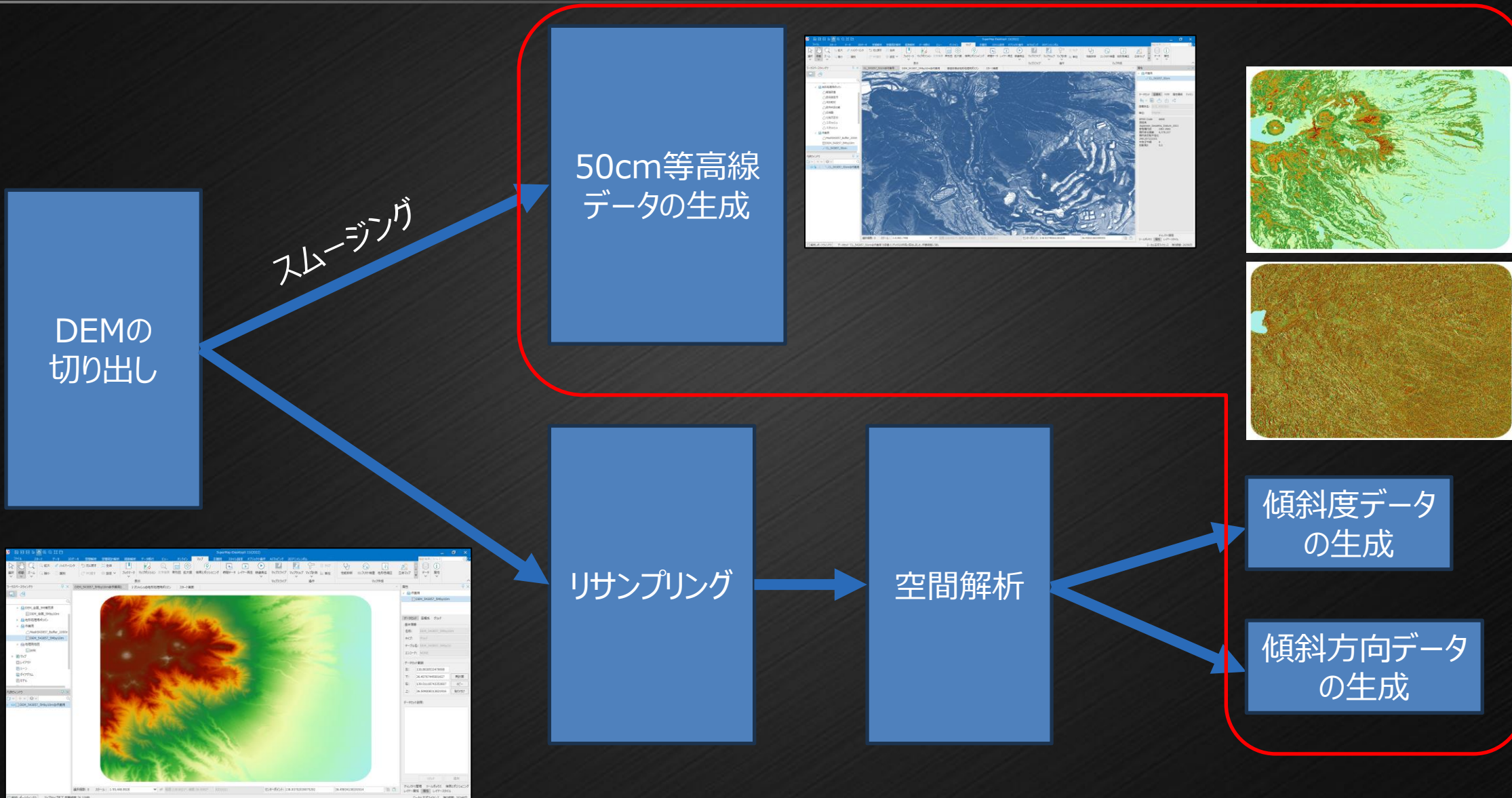


50cmDEMの例（横浜市：2万5千分の1）



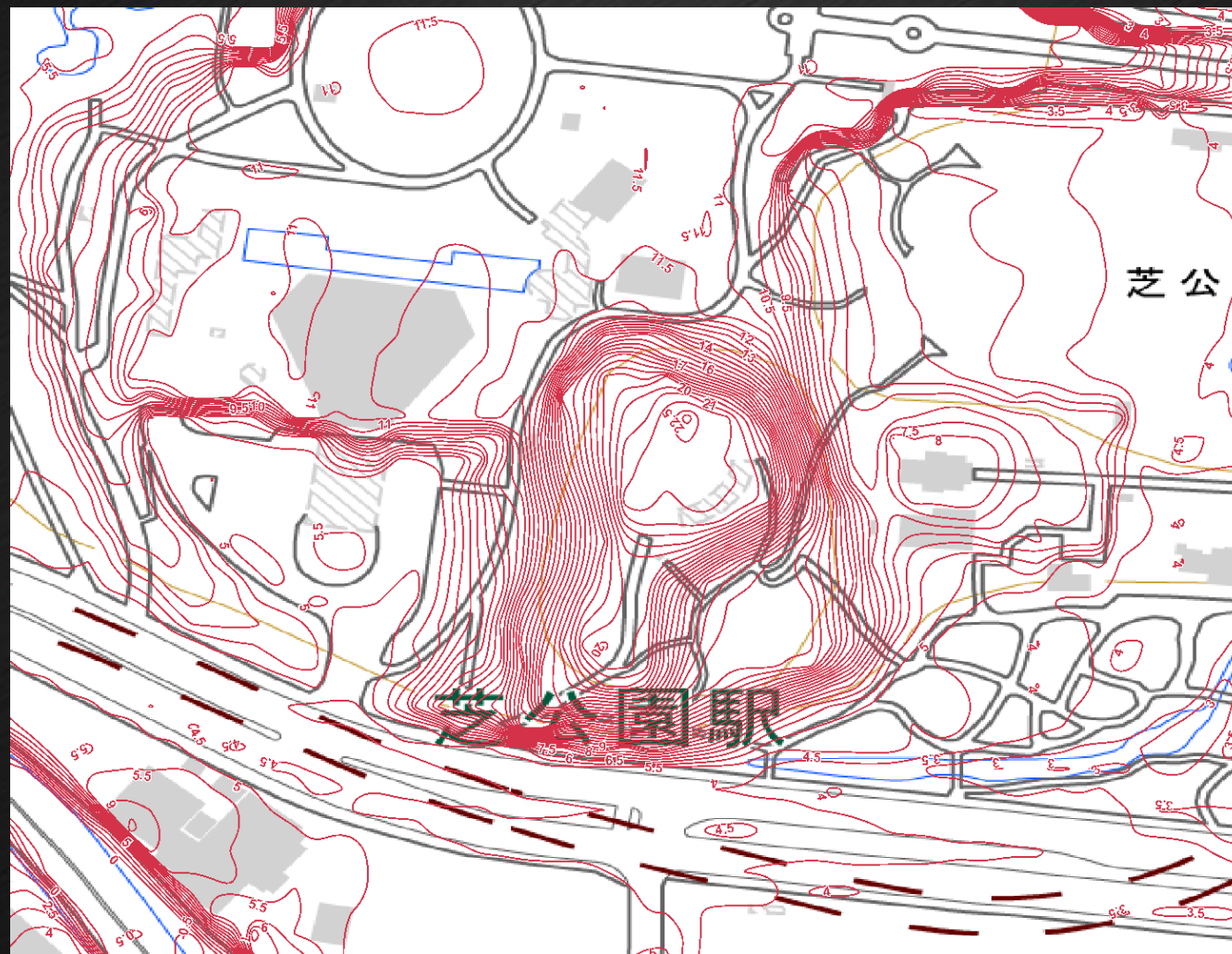
等高線データ生成工程

成果品



成果品の参考例

等高線50cm間隔 (芝公園駅付近)



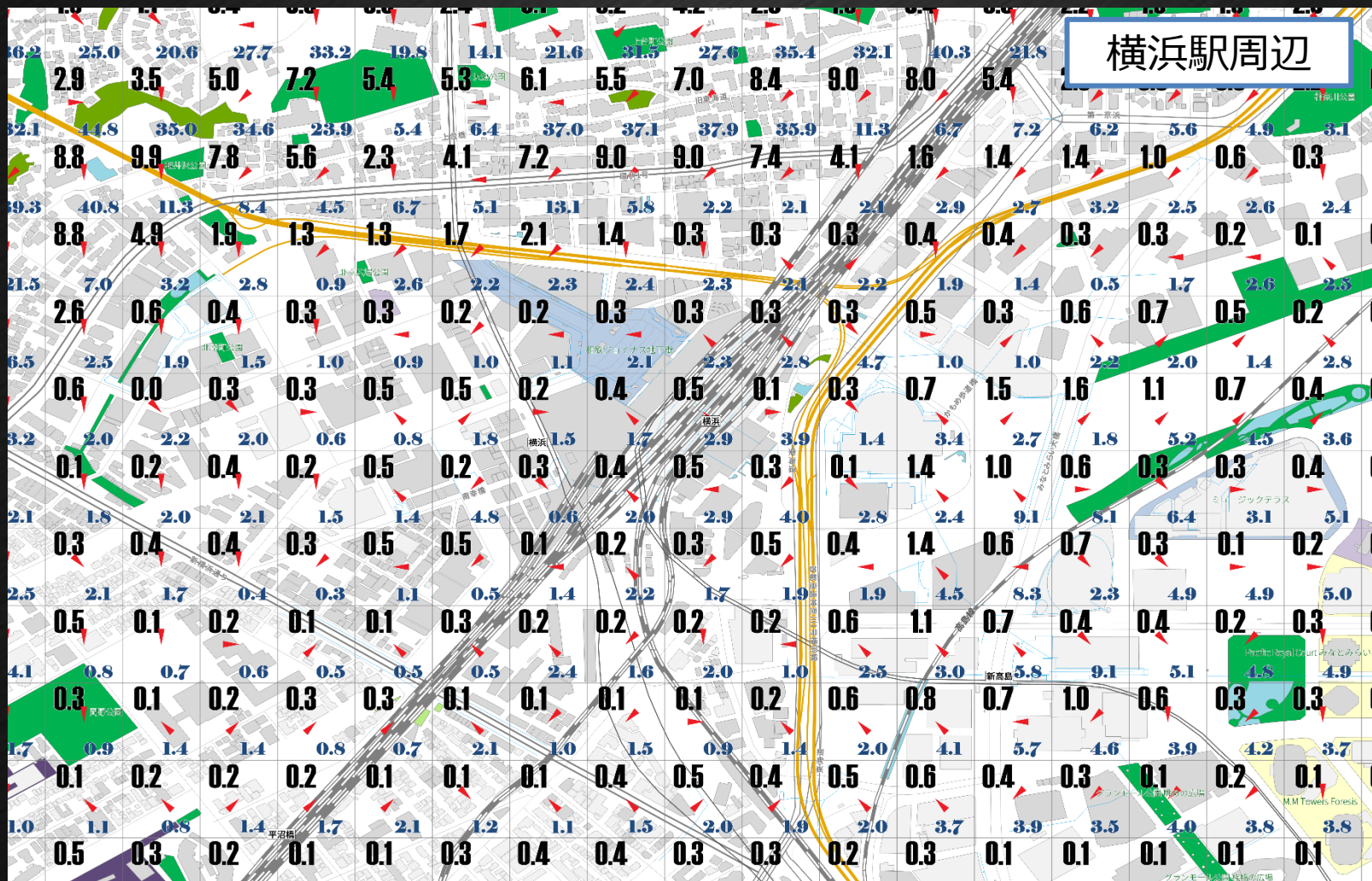
背景地図:地理院地図 淡色地図を使用

芝公園駅付近傾斜角度50cmメッシュ

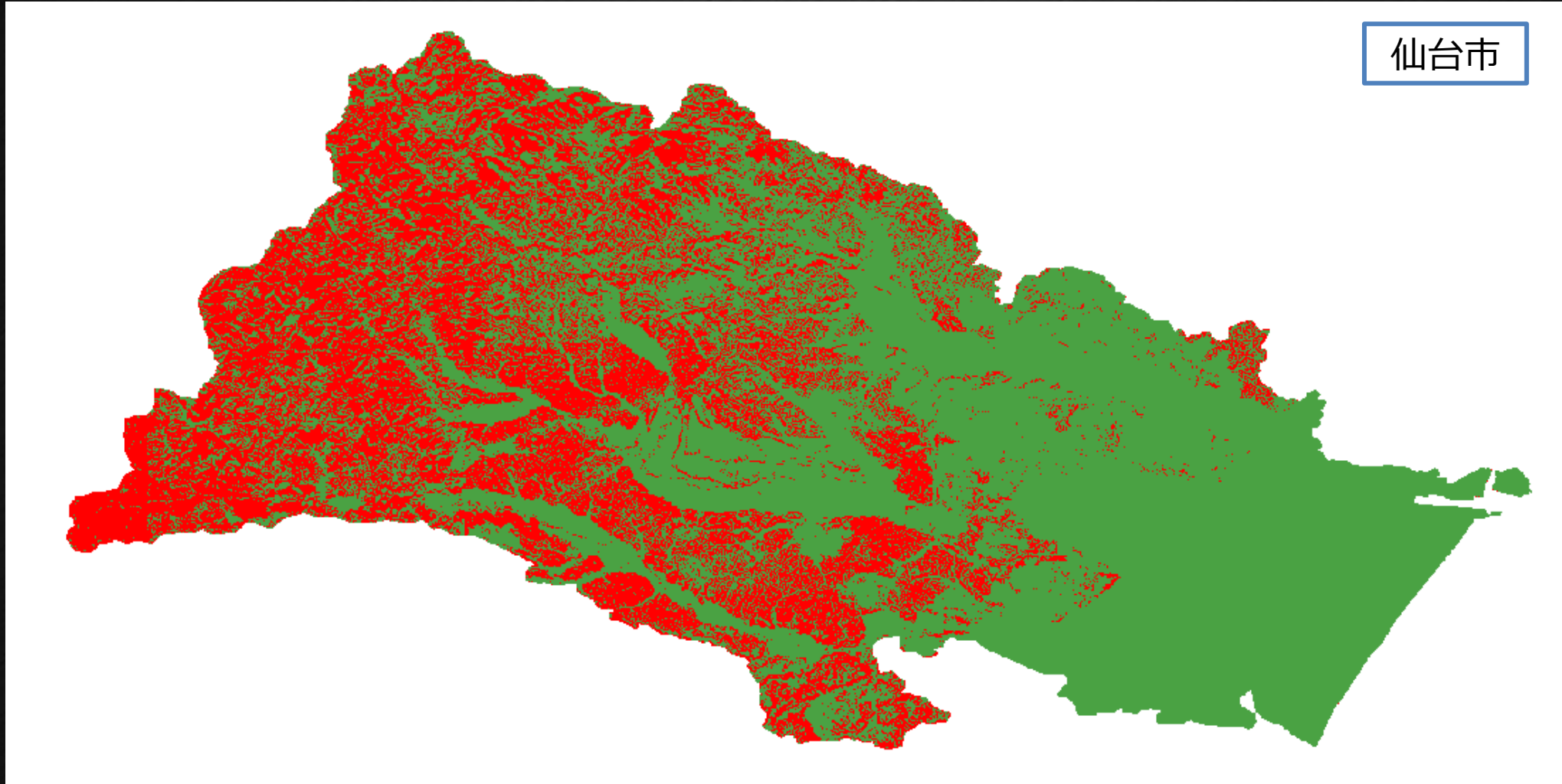


背景地図:地理院地図 淡色地図を使用

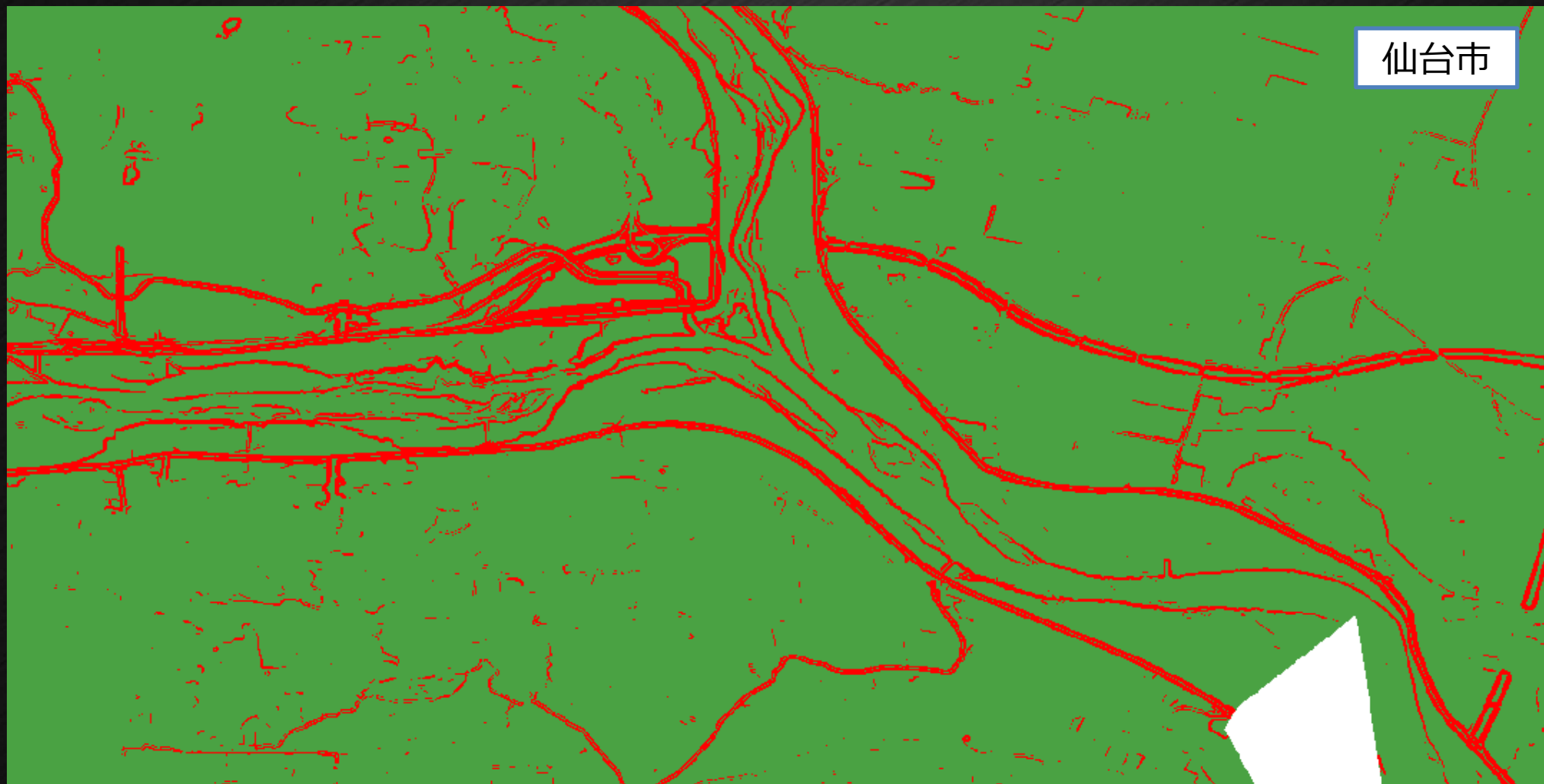
傾斜標高分布図



応用事例(傾斜角度で区分)



応用事例(傾斜角度で区分) (拡大)



地形で見るバリアフリーエリア



背景地図:地理院地図 淡色地図を使用

傾斜度分布図



SuperBaseMap50cm地形データセット

測量法に基づく国土値委員長承認（使用） R JHs 1011

製品ラインナップ

等高線50cm間隔

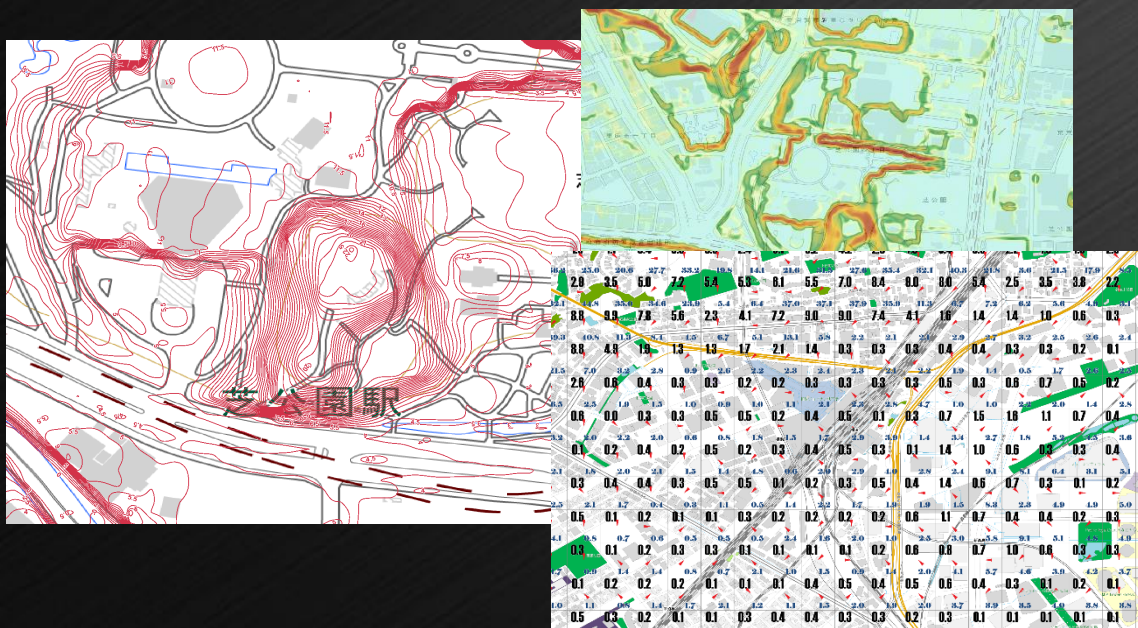
傾斜度・傾斜方向50cmメッシュ

提供単位

2次メッシュ※
(約10km×10km, 約100方キロ)

2次メッシュ※
(約10km×10km, 約100方キロ)

※連続したエリアの場合は1方キロ単位で加算可能。



成果品の活用想定

- 災害予測／防災・減災
 - 災害時要援護者の移動可能範囲の検討に
- 土地開発／建築計画
 - 都市部、郊外の傾斜地の土地評価、宅地造成の参考に
- 教育／研究用のデータとして
- 3次元計測の補完データとして

まとめと今後の予定

- 基盤データとしての数値標高モデル(5m)
 - 広域高精度な地形解析のための高い精度を持っており、広い範囲の地形解析を短納期低コストで実現→産学官の様々な分野での活用が期待
- データ製品として提供
 - 本年9月から提供開始
 - GIS/CADユーザにも使いやすいSHP/DXF形式データでの提供
 - 基盤地図情報（数値標高モデル）更新時にデータ更新を予定



GIS/地形データになじみが無い方や、広い分野で使っていただけるように今後も改善

ご清聴ありがとうございました

<https://supermap.jp>
sales@supermap.jp